

福岡県人権研究所は 2024 年 9 月 28 日で、  
前身の福岡部落史研究会創立から 50 周年を迎えます。

---

「現在の問い」から「未来の問い」へ

理事長 新谷恭明

新しい年を迎えました。この新しい年を迎えられたことじたいが妙にホッとするほど、地球は激しい戦火のなかにあります。日本でも台湾有事とか北朝鮮のミサイルだとか防衛費の増額だとか危機を煽るような雰囲気作りはなされています。しかし、如何に平和を維持するかという努力が政策においてもメディアにおいても報じられることはほとんどありません。戦争についても約 80 年前の戦争の回顧はなされるものの今の戦争についてやめさせることと、やらないことについては語られるのを見たことがありません。

それは平和教育についても言えることで、約 80 年前の戦争から学ぶことは如何にしてこれからの戦争に足を踏み出さないかを学ぶことにほかなりません。過去の戦争が現代のそして未来の（起きてはならない）戦争をいかにしてやめさせ、起こさないかに結びつかなければ単なる昔話に終始することになりかねません。80 年の歳月が現実を過去に変えてきました。過去は現在の問いに磨かれて歴史になり、問いのない時間のなかで風化して昔話になります。その問いを持ち続けることが人権問題にかかわるものにとってとても大切なことなのだと思います。

公益社団法人福岡県人権研究所はその前身の福岡部落史研究会創立から今年で 50 周年を迎えます。同時に福岡県人権研究所と改組して 20 周年になります。そういう意味では記念すべき年ではありますが、「現在の問い」がなければ私たちの存在も昔話の生産に墮していくことになってしまうかもしれません。部落史研究会創立 50 周年の記念事業は過去を昔話として振り返るのではなく、未来に向かって「現在の問い」を研ぎ澄まして臨まなくてはなりません。それは人権問題の幅広さと深さを意識してウィングを広げ、福岡県人権研究所として脱皮してからの 20 年を問い直し、未来に向かってさらなるブラッシュアップをはかる事業となるでしょう。

人権問題は日々新たな課題を生み出しています。それは人権を見つめる眼が進化し、深化しているからにほかなりません。その背景には部落問題のみならず、幅広い人権課題に取り組む人たちがいてのことになります。かつては人権問題とは考えられなかった問題が現在では重要な人権課題になっているものも少なくありません。また、人権問題に取り組む姿勢や、見方もずいぶんと変化しています。いったん身についての価値観もときには見直す必要も出てきています。

公益社団法人福岡県人権研究所はこうした新しい人権課題を研究・紹介すると共に部落史・部落問題をはじめとする人権の基礎研究を深め、「現在の問い」から「未来の問い」を生み出していけるよう尽力したいと考えています。そして、すべての戦争が終息し、すべての人の人

権が脅かされていない新年を来年には迎えられることを祈って新年の挨拶にしたいと思いません。

## I <報告>

### (1) 2023 年度「啓発担当者のための人権講座」（鍋山）

2023 年 12 月 1 日（金）、福岡市立中央市民センターにおいて「啓発担当者のための人権講座」を開催しました。50 名の参加のもと、「世界の人権、日本の人権、これからの人権」と題して、横田耕一さん（九州大学名誉教授）による講演が行われました。

講師の横田さんからは、レジュメに基づき、“「人権」について”、“人権の内容”、“人権を保障する制度”、“「こんにち人権問題を再考する時の視点」私見”、“「人権」の今後”等について、理論的に分かりやすく話をいただきました。

参加者からは、「人権の基本的な考え方、歴史的背景など学ぶことができました」「世界的視野からの人権問題と、日本における人権問題を解決する前提条件の整備の不徹底の発展と展開は明確に納得できた」等の感想が寄せられました。

なお、「参加者が少なかった」との声が数名から寄せられました。より多くの人権啓発担当者に参加してもらえるよう、講座の周知方法等については今後十分に検討する必要があると思われまます。

## II <お知らせ>

### (1) 部落問題部会 第 4 回 研修会

今回の研修会内容は、一昨年出版された絵本『いのちの花』の『実践事例集』（「人権研究所出版」）の中の授業実践からです。福岡市で行われた、社会科の授業と人権・部落問題の教材とを結びつけ、膨らませた実践の発表です。併せて「井元麟之・人とその思想」の第 3 回も行います。内容は、爆弾の無い爆弾事件と言われている「福岡連隊事件」についてです。福連事件の秘話も含めて・・・。

多くの方のご参加をお待ちしています。学び合いませんか、教育・啓発の理論と実践について !!

日時：2024 年 1 月 27 日（土）13:00 受付 13:30 開会

会場：福岡市教職員組合東部事務所

（福岡県福岡市東区馬出 4 丁目 2-17）

内容：

1. 授業実践報告・「絵本『いのちの花』が生まれでた!!」：実践事例集より

報告者：古賀朗さん

テーマ：「絵本『いのちの花』と歴史授業」

2. 「井元麟之・その人と思想」～第 4 回 「福岡連隊事件」について～

報告者：上滝怜子さん

テーマ：「福岡連隊事件と井元麟之」

問合せ：公益社団法人福岡県人権研究所

TEL (092) 645-0388 FAX (092) 645-0387

### (2) 啓発部会（第 8 回）

日時：2024 年 1 月 27 日（土）13:00～

場所：田川市民会館

内容：

①自治体職員研修の資料の検討

②来年度の活動について

問い合わせ先：福岡県人権研究所（092-645-0388）

(3) 2023年9月25日（月）21時～テレビ朝日 ABEMA Prime（ネットテレビ）に川口泰司さんがご出演され、川口さんの新刊『「寝た子」はネットで起こされる！？』（福岡県人権研究所）が紹介されました。以前、『リベラシオン』144・186号に東日本大震災被災地支援についてご執筆された片岡遼平さんもお出演されています。以下のサイトでご視聴いただけます。

[https://www.youtube.com/watch?v=o0opx\\_QdRe4](https://www.youtube.com/watch?v=o0opx_QdRe4)

『「寝た子」はネットで起こされる！？』お求めはこちら↓

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/item-detail/1428113>

※以下の研究所サイト（イベント・部会等）は Google、Edge では表示に不具合が生じるため、Firefox というブラウザでご覧下さい。

Firefox のダウンロードは以下のサイトからお願いします。↓

<https://www.mozilla.org/ja/firefox/windows/>

・ イベント

<http://www.f-jinken.com/event.html>

・ 部落史部会

<http://www.f-jinken.com/activity/burakshi.html>

・ 教育部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kyoiku.html>

・ ジェンダー部会

<http://www.f-jinken.com/activity/gender.html>

・ 外国人部会

<http://www.f-jinken.com/activity/gaikokujin.html>

・ 啓発部会

1月27日（土）「①自治体職員研修の資料の検討、②来年度の活動について」

<http://www.f-jinken.com/activity/keihatsu.html>

・ 海外人権スタディツアー企画部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kaigaistudy.html>

・ 部落問題部会

1月27日（土）「授業実践報告」「井元麟之・その人と思 第4回」

<http://www.f-jinken.com/activity/burakumondai.html>

・ 特別プロジェクト「松本治一郎・井元麟之」研究会

<http://www.f-jinken.com/activity/project1.html>

〔人権研究所 書籍販売〕

新刊『「寝た子」はネットで起こされる！？—ネット人権侵害と部落差別—』（川口泰司著）

新刊・既刊のお求めはこちらから↓

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

当研究所 HP、コラム「羅針盤 PART II」

<http://www.f-jinken.com/index.html>

研究所フェイスブック

<https://www.facebook.com/fukuokajinkenken/>

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>

◇みなさんの投稿お待ちしております。

[info@f-jinken.com](mailto:info@f-jinken.com) （登録解除はこちらから）

【公益社団法人福岡県人権研究所は、会員の会費で運営されています。】